

## 校長室だより「伸びゆく梢」Ⅲ

文責 柴田町立船迫中学校 校長 三浦 道子

船迫中学校勤務3年目になりました。今年度も校長の視点で、生徒の活躍や学校の様子を発信してまいります。コロナもようやく第5類となり、まだまだ手探りの状態ではありますが、通常の教育活動を計画しております。ぜひ学校に足を運んでいただき、お子さまの様子をご覧いただければ幸いです。校長室だよりの名前は、校歌の3番に「風はかよい 羽山さやに伸びゆく梢 ここ船迫」からいただいております。迫中生の姿は、すくすくと育つ若木のようなです。今年度の活躍も大いに期待しております。

### 2023年度の船迫中学校の学力向上のために



例年、保護者アンケート・生徒アンケートは、高評価をいただいておりますが、学力向上に関する評価が伸び悩んでいます。

- |  |
|--|
| ①学校は子供たちの学力を高めていると思う。【保護者】 78% (R3年度より1%減) |
| ②家庭学習に進んで取り組もうとしている。【生徒】 67% (R3年度より12%減)  |

この結果を受けて、今年度は定期テストを3回から4回(中間・期末)各2回に増やし、家庭学習時間を確保するために学校全体で取り組んでいきます。そのためにはご家庭のご協力が必要となります。

### その1 授業で勝負！先生方も生徒も頑張ります！ご協力を！

昨年、「授業の心得」を変更しました。(船迫中学校スタンダード参照)。特に今年度は、以下の2点を徹底したいと考えています。

- ①チャイムの前に授業の準備をする。
- ②授業で出された宿題に確実に取り組む。



とても、当たり前のことですが、これが不足していたと感じています。授業を参観していると、教科書を忘れて、隣の席の生徒に見せてもらっていたり、学習用具がそろっていないという状況が見られました。また、チャイムが鳴ってから慌てて準備する様子もありました。宿題忘れや課題未提出も多く、「本人が一番困るのに、時間の使い方がもったいないなあ」と感じる場面もありました。先生方の声掛けだけでなく、ご家庭のご協力も必要です。

### その2 漢字検定・英語検定の積極的な呼びかけ

昨年、漢字検定2回、英語検定2回の実施をしました。人数も集まり、当日は5時間授業とし、放課後の時間帯で受検が可能でした。受検料もかかり、問題集の購入も必要になりますが、どちらの検定も高校受験のための学習につながりますし、検定取得は就職の際に有利となります。何よりも目標をもって学習することは楽しみになります。ぜひ、検定挑戦へのお声がけをお願いします。

漢字検定	6月9日【金】	11月2日【木】	漢検受検料目安：4級2,500円
英語検定	10月6日【金】	1月12日【金】	英検受検料目安：4級2,900円

### その3 学習に向き合う時間確保のためには「我が家の利用ルール」が大切

授業で習ったことを確実にするためには、記憶が薄れる前に復習したり、宿題に取り組むことが大切です。そのためには、家庭学習時間の確保が大切です。各教科毎にまとめた「各教科の家庭学習」については、学年PTA資料にも掲載しておりますのでご確認ください。

ゲームやYouTube、スマートフォン等の使用時間増加は、寝不足や依存症、集中力低下につながり、社会問題となっています。ご家庭でしっかりとルールを決めて、家庭学習時間を確保してください。そして、勉強しているお子さんを認め、温かい励ましをお願いします。

また、思春期のお子さまとの向き合い方について、河北新報の記事を紹介します。